

1月

かせ そら たいよう クラスだより



子どもたちの元気な声や挨拶と共に新しい年がスタートしました。子どもたち、お家の方にと、笑顔溢れる一年となりますようにお祈り申し上げます。今日は凧揚げやコマ回しカルタなどお正月遊びをしました。戸外では真冬の寒さを吹き飛ばすほどに元気に走る子どもたちです。冬の季節を楽しみつつ、体調管理に気をつけて過ごしていきたいと思っております。

2024.1.31 円町まぶね隣保園

かせぐみ

ラテッシュの収穫

1回目 30個(ほとんどの芽を出している中で大きくなったラテッシュは3つほどでしたが子どもたちは大喜びです。皆で食べるのに七割と小さくなりましたが茹でて食べると「大根みたい」「ちょっと苦い」「美味しい」など素直な感想で素材の味(まじり)と味わうことができてきました。その後皆で相談をして残りの分は味つけをすることになり大人気の「海苔和え」に気がまりました。

2回目 収穫のラテッシュが大きい育ち 今度は20個(ほとんどの収穫)できました。自分で収穫できることが嬉しくこと木を扱おうかと迷っている姿がありました。自分で、たものは自分で洗います。手が冷たい中でも落とさないように大事に持って洗っていた子どもたちです。そしておやつ時間に保育室で茹でました。金魚を覗いてお湯の色がピンク色に変わっていくのが不思議で釘付けです。食すると「醤油で前の時と味が変わったね」と言っていたり野菜が少し苦手な子どもも「美味しいおかわりする!!」と言っていました。

「食べてみたい」という思いから育てたラテッシュ。いつの間にか愛着がわき、味付けをする前に大きくなっていく姿を見に行きたくて来た。



異年齢交流

月に1回各クラスとの交流をしています。たいよう・そら組の友だちとは登園時とおやつ後に過ごしていることもあり自然と一緒に遊ぶ姿が見られます。関わりの中で遊びのレールを教えてもらったり真似したりと憧れの気持ちを抱いているようです。自分より小さいクラスの友だちとは初めはどちら接してよいか分からず戸惑っていた姿もありました。しかし最近はお目を含ませようとしゃべりながら話かけている姿が見られるようになりました。また散歩に行く時には「まらな!」と車道側を歩こうとしています。交流を積み重ねてお兄さんお姉さんとしての優しい気持ちが芽生えてきているように感じます。同い年の友だちとの関わりでは見えない姿や気持ちを今後も大切にしていきたいと思っております。

そらぐみ

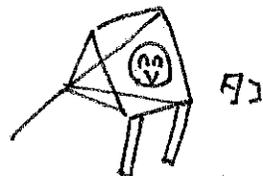
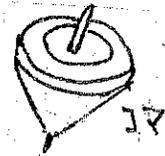
お正月あそび

毎年年始の長い休み明けに、「お正月は何したの?」と聞くと、「おはあちゃんのおうち。た。」「○○もってたで。」「○○したで。」と笑顔で話し、楽しいお休みになったことが伝わってきました。また、保育園で友だちに会えることも嬉しそうなお正月遊びをしました。

新年の保育が始まり、しばらくして最近は見かけなくなったお正月あそびのひとつの凧あけを経験してもらいたくて、又、制作する楽しさを感じてもらうために凧を作りました。凧はレジ袋で作りました。型紙を型もとリ、ハサミで切ったのですが、画用紙を切るのとは、勝手に丸いフニャフニャしたレジ袋を切るのには難しかったです。

「むずかしい」「きれない」と言いながらも、「つくりたい」「あそびたい」気持ちで、諦めないで集中して切っていました。切れた凧には、それぞれが好きな絵や模様を描きました。家族や友だちを描いたり、ハートを描いたり、数色を使って塗りつぶしたりしていました。後は竹ひごをセロテープで見張りつけて、保育者が紐をつけて完成です。完成後は公園に行き、みんなで凧あけを楽しみました。早く公園に行き、遊びたい子どもたちはソワソワしています。「はやくいこう」とせかします。公園に着くと、一気に凧あけが始まります。色んな方向に走って行きます。一生懸命走り、凧が気になって、前を見ていなかったため、友だちとぶつかったり涙する場面もありましたが、最後はみんな楽しんで帰ってくることができました。

また、コマでも遊びました。かせ組までは、まで回すコマでしたが、そら組からは紐で回すコマです。コマに紐を巻きつけるのが難しく、思い通りに出来なくて、行ったり戻ったりする姿もありましたが、「やりたい!!」気持ちでそれぞれにあり、紐がほどけても何度もやり直して挑戦していました。あまりにも、じっくりと集中していたため、保育室が誰も居ないかのように青空になっていたことが印象的でした。この日は、紐を巻いてみるだけで終わってしまったのですが、後日、数人の子どもが、宝箱からコマを出してきて、再び挑戦し、あと少しで回せようとなっていました。できるようになるまで、気持ちを折れず、折れずともあります。出来るようになりたい気持ちを継続できるようにお手伝いし、出来た時の喜びを共有できたらいいなと思います。



たいようぐみ

新しい年が明け、早いもので1ヶ月が経とうとしています。子どもたちはまだ甘えていた気持ちがある反面、気づきあいや声かけをしながら友だちを意識し、集団の中で自分自身を出しながら成長している姿があります。

1月の活動では、年明けに凧を作りました。スーパーの袋に絵をかいた簡単なものですが、走ると膨らむ様子が面白く、何度も走っていました。さらに、月末に行く雪あそびに向けて、帽子作りをしました。キットに糸をかけて、さらに出っ張りにひたすら引っかけていきます。同じことの繰り返しですが、慣れてくると面白く、一日で仕上げてしまう子どももいました。引っかける時に紐が二重にかかっているか、かかっていると下に下がっていきはすなのに、行かないからということと話していたので「ここ、ちょっとおあいかも」と子どもの方から教えてくれました。出来た帽子をかぶり、雪あそびに向けて「あと何にち」とカレンダーを見ながら、楽しみにしています。

豆まき

前に双ヶ丘に行った時に、景色がのっているパネルがあり、「鬼はよだ山、おていところから来てんやで」ということを教えてもらいました。それから、「鬼ってそこからくるんやろ?」「今年はどうな鬼なんやろ」と楽しみにしつつ、ドキドキしていました。たいようぐみになり、今年自分たちが初めて鬼役になります。お面を今年作りで作っています。風船に和紙と新聞を順番に貼って、丈夫なものになりました。一人ひとり鬼のイメージが違うので、色や形でも様々な色や形になりました。他のクラスの子どもには内緒にしつつ、来月の節分の由来も知りながら、楽しみにしたいと思います。

卒園に向けて、残りあとわずかになりました。アルバム作り、制作展、活動内容も増え、毎日があっという間に過ぎていきますが、子どもたちにとって「ああ、こんなしたな」「楽しかった」と思ってくれるように進めていきたいと思っております。

